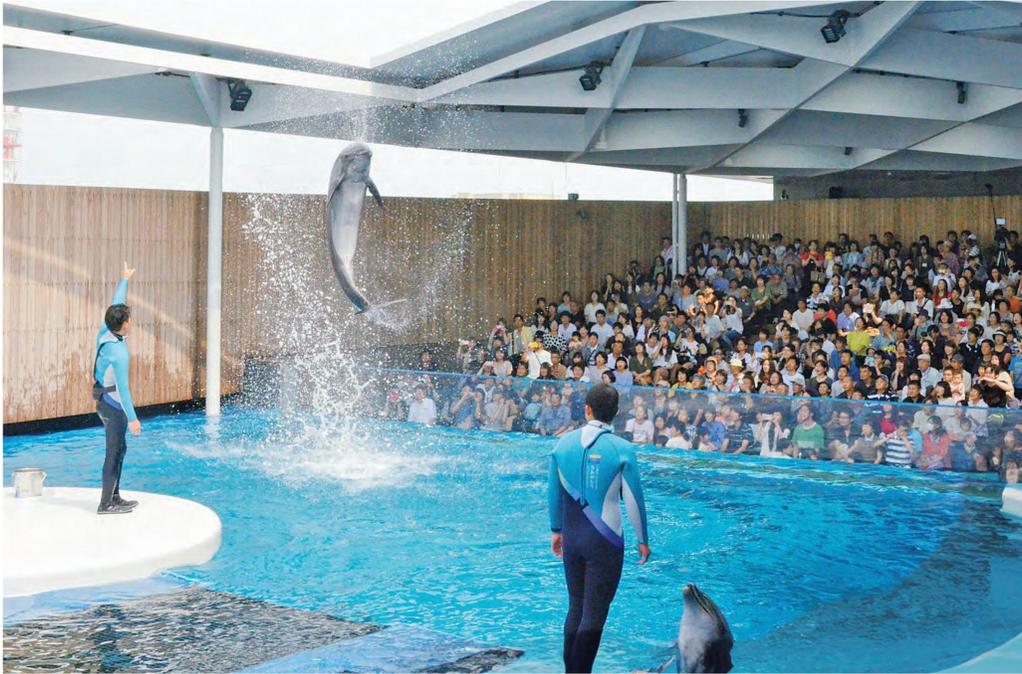


水族博物館 うみがたり

上越市の水族館の長い歴史を受け継ぐとともに、未来に向けた新しい「ものがたり」を生み出す水族館として2018年6月にオープンしました。



㉔:バンドウイルカのドルフィンパフォーマンス
㉕:日本一の飼育数を誇るマゼランペンギン
㉖:ガラス張りの外観が目玉の建物

市民交流施設 高田城址公園オーレンプラザ



2017年9月にオープンした、600席規模のホールのほか、陶芸室や調理実習室、会議室などさまざまな機能を持った複合施設です。

㉗:上越市民吹奏楽団 AutumnConcert “エール”(2020・令和2年10月)

歴史博物館



市民が共有できる地域の歴史像が必要という考えのもと、旧総合博物館をリニューアルし、常設展示を備えた歴史博物館として2018年7月にオープンしました。

小林古径記念美術館



2020年10月にオープンした、日本画家・小林古径や上越市ゆかりの美術作家の作品などを収集・展示する美術館です。敷地内には小林古径邸があります。

旧今井染物屋



江戸時代末期に建てられた市内に現存する町家の中で最も古く、最大級の町家です。雁木は、古い形態の造り込み式で、通路の上部は物置や居住に使用していました。パテンレースの常設工房を設置し、地域文化の継承と発信の拠点として2021年4月にオープンしました。

ライオン像のある館



明治時代の直江津の商工業を支えた直江津銀行の建物(1907年築)を、海運業を営む高橋達太が取得、1920年に現在地に移築しました。上越市最古の擬洋風建築であり、シンボルであるライオン像は、高橋の要請により制作されました。2019年3月に上越市文化財に指定され、見学やイベントに利用されています。

旧師団長官舎



1910年に旧陸軍第13師団第3代師団長・長岡外史中将の邸宅として建てられたもので、市内に残る数少ない明治期の和洋折衷の木造建築物です。2021年4月から文化財としての趣をいかしつつ、建物見学に加えてレストランとしてオープンしました。

高田まちかど交流館



旧第四銀行高田支店は、1931年に百三十九銀行本店として建てられた当時では珍しい鉄筋コンクリート造の建物です。外観は積み石張りにレンガタイル貼り、内部のホールは1・2階が吹き抜けになっています。改修が行われ、2018年4月から内部の見学ができるようになり、ホールはイベントなどに貸し出されています。

上越清里星のふるさと館

県内最大の65cm反射望遠鏡での天体観測や4Kデジタルプラネタリウムによる季節の星座など、迫力ある天文体験ができます。県の指定天然記念物 榊池の隕石など宇宙に関する様々な資料を展示。2023年に開館から30年を迎えました。



越後上越 上杉おもてなし武将隊

2011年4月に結成。上杉謙信公の居城であった春日山城跡をはじめ、上越市内の観光施設やイベント会場において演武を披露するなど観光客のおもてなしをしています。また、県内外で観光PR活動を行っています。



クルーズ船による交流

直江津港のにぎわいを創出するため、韓国・浦項市との友好提携10周年記念などを機にクルーズ船ばしふいっくびいなすが寄港しました。



㉘:別荘ふいっくびいなす ㉙:出航の際の見送りイベント